

小学校 6年 体育科

考える
感じる
想像する

話す・聞く
書く
読む

育成したい
国語力

感動を伝えるため、場や相手に応じて工夫して話したり、話し手の主張に共感しながら感動したことを聞き取ったりする。目的や意図に応じ、考えたことなどを簡潔に書く。書き手の考え方を読み解き、自らの考え方と比べる。

単元名 ボール運動「ソフトバレーボール」

- 本時の目標**
- ・チームで協力し合って、楽しく安全に練習やゲームに取り組もうとする。
【運動への関心・意欲・態度】
 - ・自分達のチームの特徴に合わせて、作戦や練習方法を考える。
【運動についての思考・判断】

本時の流れ

導入

- コート の 設 営 (一 斉)
- 本時のめあての確認 (一斉)
「チームの特徴に合わせて作戦や練習方法を考え、楽しく練習やゲームをしよう！」
- 対戦相手やルールの確認 (一斉)

展開

- 準備運動 (一斉)
- 作戦タイム (グループ)
 - ・自分のチームのよい点や弱点を見付ける。
 - ・自分のチームの特徴にあった作戦を立てる。
 - ・作戦に必要な練習 をする。
- ゲーム
 - ・ゲーム をする。
- 作戦タイム (グループ)
 - ・ゲーム を振り返り、よかった点、改善点を整理する
 - ・ゲーム に向けて練習 をする。
- ゲーム
 - ・ゲーム をする。

まとめ

- 振り返り
 - ・次回のゲームへ見通しをもつ。

国語力育成の視点

ボール運動は、自分のチームの特徴に応じた作戦を立ててゲームを行い、得点を競い合う集団的な運動です。
本単元では、《情報を活用したり、ゲームの展開を予測し作戦を立てる》《互いに協力してゲームの楽しさや喜びを味わう》《ゲームの楽しさや喜びを共有する》《改善点を明らかにして次回のゲームにつなぐ》などの学習のプロセスに言語活動を取り入れ「考える力」や「感じる力」「想像する力」を育成し、体育科のねらいに迫ります。

視点①

考える力・想像する力

《情報を活用したり、ゲームの展開を予測し作戦を立てる》

- ・今までのゲームを振り返り自分のチームの特徴(よい点や弱点)を確かめます。
- ・「課題別作戦カード」の情報を読み取り、自分のチームの特徴に合った作戦を話し合います。
- ・相手チームの動きを想像しながら作戦を吟味します。

視点②

感じる力・想像する力

《ゲームの楽しさや喜びを味わい共有する》

- ・ゲーム では、相手の動きを予想して攻撃できたり、友達や場の状況を感じ取って連携プレーができるなど、ゲームの楽しさや喜びを獲得することができます。
- ・個々の楽しさや喜びを共有するために、言語活動をゲームと関連付けて位置付けます。

視点③

考える力・想像する力

《改善点を明らかにして次回のゲームにつなぐ》

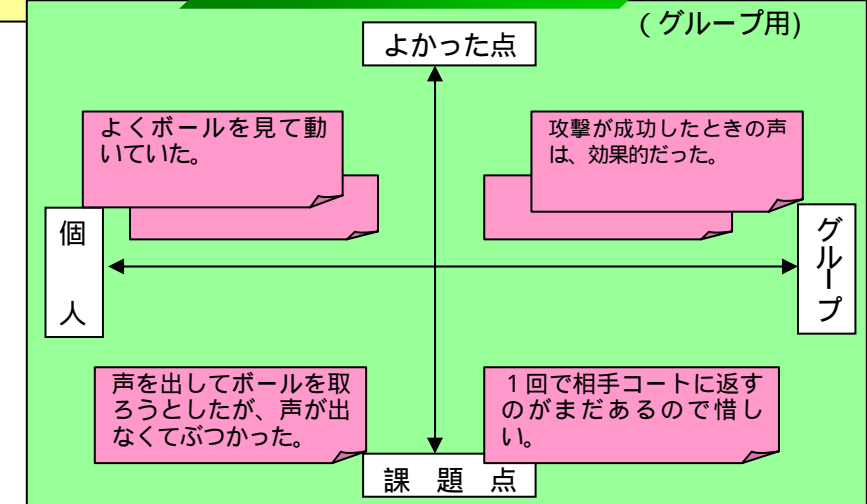
- ・ワークシート では、付せんにうまくいった作戦や友達のよい動きを書き出し、認め合います。自分自身では気付かない点もチームで教え合うことで、次回のゲームへ見通しをもつことができます。確認したことはワークシート に整理します。

ワークシート

自分のめあて	きょうの伸び	明日へジャンプ

ワークシート

(グループ用)



課題別作戦カード例

例1: 誰も触れずにボールがコートに落ちることが多い。

- 【作戦】
- 自分の近くにボールが来たら、ボールの落ちそうな所へ動く。
 - ボールを取ろうとするときは、声を出して知らせる。

例2: レシーブやパスのボールが高く上がりすぎて、次の人が取りにくい。

- 【作戦】
- 手を振り上げない。ボールを高く上げすぎない。

例3: 攻撃が決まったときに〇〇さんが声を出して気分が高まってよい。

- 【作戦】
- 攻撃が決まったときはみんなで声を出して喜び合う。

例4: ボールを1回で相手コートに戻してしまい、攻撃ができない。

- 【作戦】
- 1回で攻撃しようとしなない。
 - やさしくボールに触れ、次に触れる人が返ししやすいようなボールにする。
 - 「1・2・3」とボールをつなぐようにみんなで声をかける。

低学年

中学年

高学年

中学前

中学後

音楽

美術
工 術

技術
・ 家庭

保健
体 育

活 動

道 徳

な 総合的
学 習